

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたため、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・
・消灯もしくは点滅する
・消灯して暗くなったり、豆球が点灯する
・調光操作ができなくなったりする
いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

△注意 ランプホルダー(ソケット)やランプ支持パネを強く弾かないでください。ランプの破損・けがの原因になります。

1 電源を切る

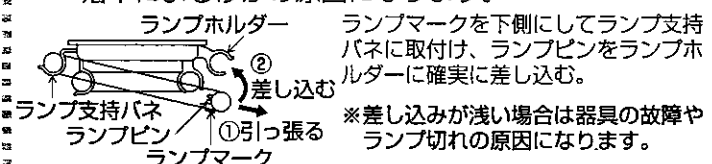
2 セードを取外す

■取外手順2を参考にセードを取外す。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。落下によるけがの原因になります。



5 セードを取付ける

■取付手順5を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- ・蛍光灯ランプの両端が黒ずみだしたら交換時期です。長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

<保証について>

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。
3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (5)施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)		お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体: 1年間 安定器: 3年間			
お客様	お名前		電話 ()
	ご住所		

コイズミ照明株式会社

R100 100%再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 BHN7142C
GHN7160C

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警告

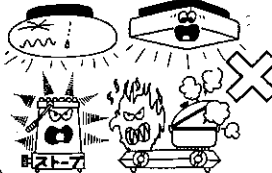
この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

！ 厳守 器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
禁止 このような場所には取付けしないでください。この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。	傾斜天井 変形天井 サオプチ天井 格子天井
分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	ローゼット シーリング
禁止 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。	ケースウェイはめ込み配線器具
禁止 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。	●配線器具の出しろが少ないもの シーリングボディ 20mm未満 埋込ローゼット 10mm未満 フル引掛シーリング 20mm未満 フル引掛ローゼット 8mm未満
禁止 埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものを ご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。	●破損している ●電源端子露出形 ヒビ割れ 欠けている グラツキやガタツキ 電源端子
！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

取説No. C117-629 KL/S・T

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。
 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		器具の下にストーブなど の高温のものを置かない てください。また、燃え やすいものを近づけて使 用しないでください。 →火災の原因になります。 
 アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設 備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行 なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になりま す。		
 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
BHN7142C・GHN7160C	AC100V	50/60Hz 共用	74W	FHC 27+FHC 34 (豆球5W付)

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。

※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

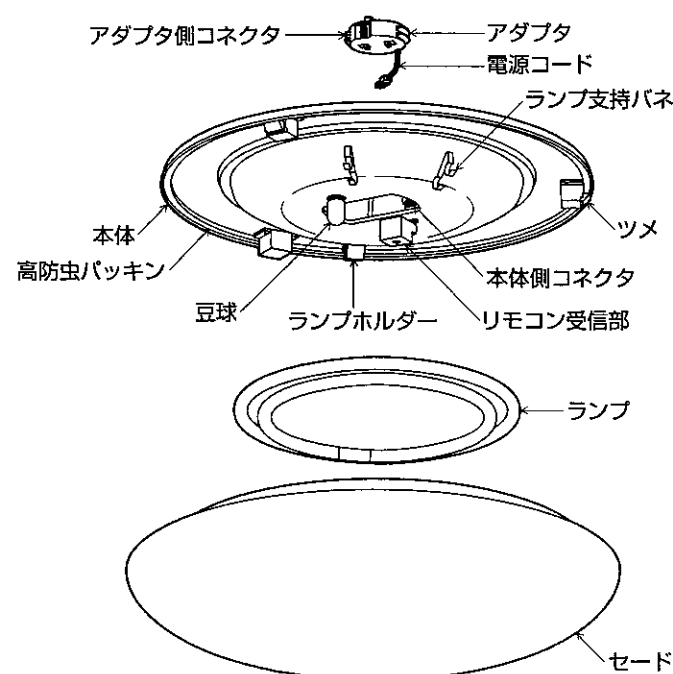
天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている
 配線器具が確実に固定されているか
 確認する。

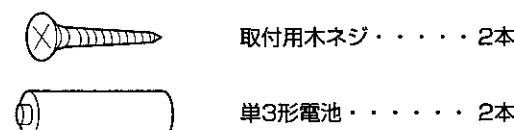
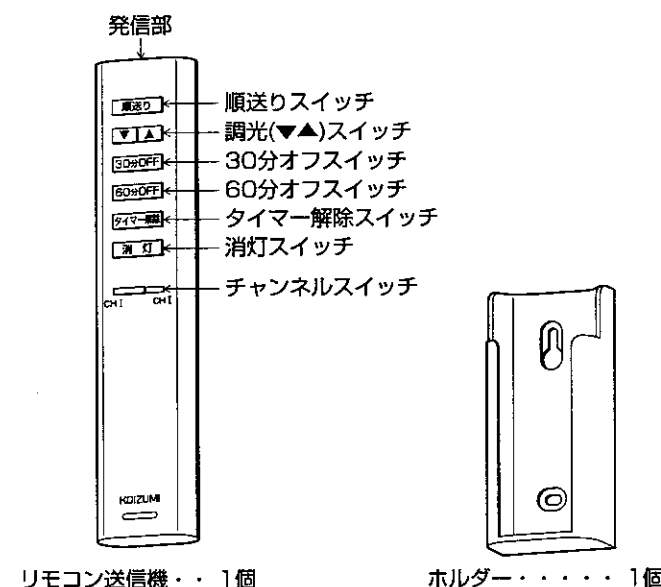


■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
 ※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

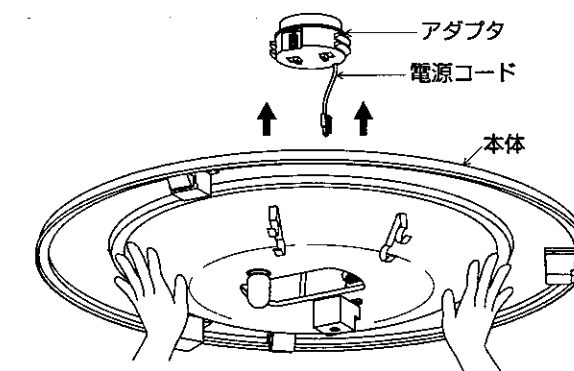


＜リモコン送信機一式＞



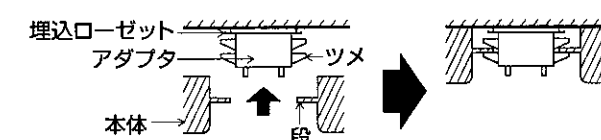
2 本体を取付ける

- ① 本体の穴に電源コードを通す。
- ② 本体をアダプタに合わせて押し上げる。



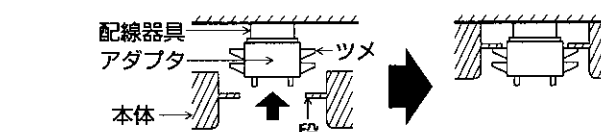
＜埋込ローゼットの場合＞

アダプタのツメに本体が引っ掛かるように1段階
 押し上げる。

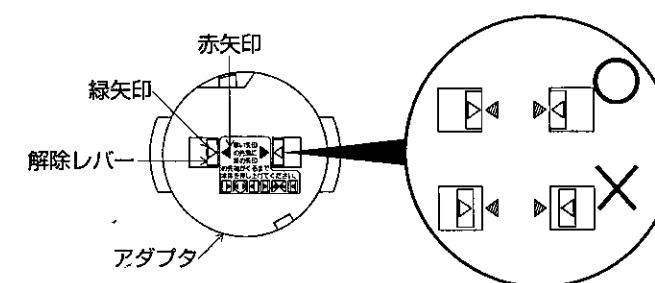


＜その他の配線器具の場合＞

2段階押し上げる。
 本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。



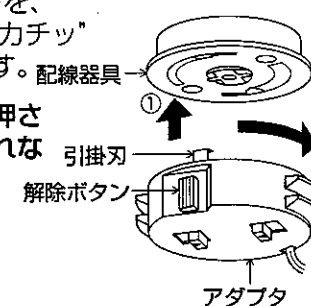
△警告 解除レバーの緑の矢印の先端が、アダプタ
 の赤い矢印の先端にくるまで本体を押し上げてく
 ださい。取付けが不完全な場合、落下によるけが
 の原因になります。



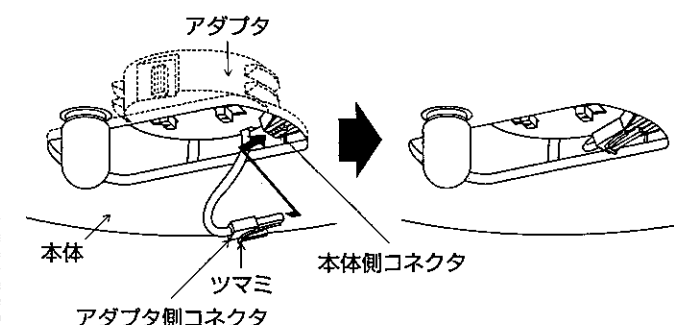
1 アダプタを配線器具に取付ける

アダプタの引掛刃(2本)を、
 配線器具にはめ込み、"カチッ"
 と音がするまで右に回す。配線器具

△警告 解除ボタンを押さ
 ずに左に回し、はずれな
 いことを確認してく
 ださい。アダプタの
 取付けが不完全な場
 合、落下によるけが
 の原因になります。



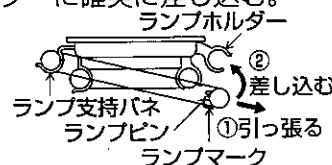
3 コネクタを接続する



4 ランプを取付ける

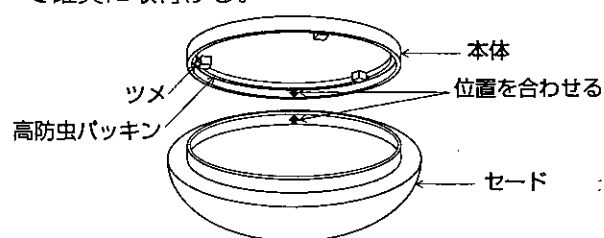
ランプマークを下側にしてランプ支持パネに取付け、ランプピンをランプホルダーに確実に差し込む。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



5 セードを取付ける

セードと本体の矢印を合わせ、まっすぐに持ち上げて確実に取付ける。



※本体の高防虫パッキンをはがさないでください。小さな虫の侵入を防ぐことができなくなります。

6 点灯の確認を行なう

■取外手順

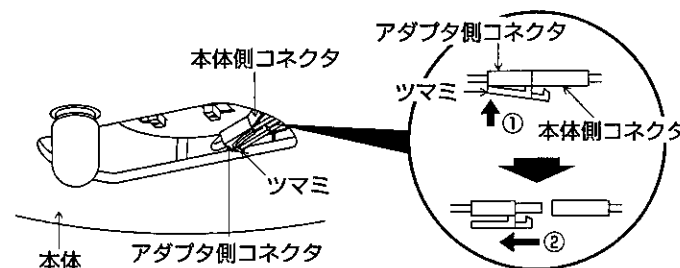
1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取外す

セードを"カチッ"と音がするまで右あるいは左に回して取外す。

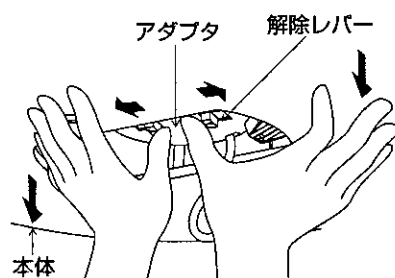
3 コネクタを取外す

アダプタ側コネクタのツマミを押さえながら引き抜く。



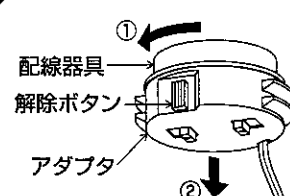
4 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタのレバーを外側にひらげ、本体を取外す。



5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。



■壁スイッチで操作する (プルレス操作)

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
・壁スイッチをOFFにし、約1.5秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。
・壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにすると全灯状態で点灯します。

- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をプルレス操作することは避けてください。

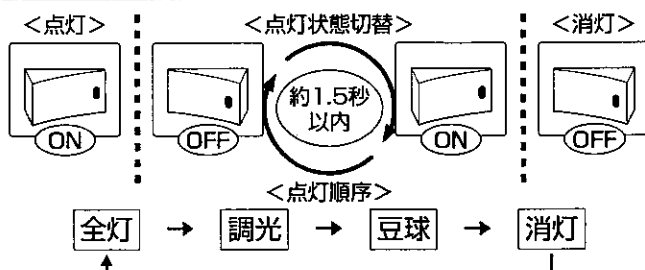
- おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。(点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、全灯の状態になります。)

- 出荷時、蛍光ランプの調光は約70%に設定されています。リモコン送信機で調光した場合、次回のプルレス操作では、その明るさで点灯します。(ランプの明るさ30%以下で調節されていた場合は、30%で点灯します。)ただし、壁スイッチまたは停電などで一定時間電源が切られた場合には出荷時の明るさに戻ります。

※調光モードは、一旦全灯してから調光状態になります。

＜ホテルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合＞

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されるとプルレス動作が正常にはたらない場合があります。
壁スイッチを3個以上使用される場合は、ホテルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。



■リモコンで操作する ※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

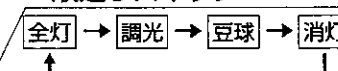
1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。
また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

調光(▼▲)スイッチ

▲あるいは▼スイッチを押し続けるとランプ点灯時は100%～約10%の間で好みの明るさに調節できます。(周囲温度約25℃時)
※調光状態は、室温、器具形態によって多少変化します。

順送りスイッチ



の順送りが可能です。

※出荷時、蛍光ランプの調光は約70%に設定されています。リモコン送信機で調光した場合、次回の順送り操作では、その明るさで点灯します。(ランプの明るさ30%以下で調節されていた場合は、30%で点灯します。)ただし、壁スイッチまたは停電などで一定時間電源が切られた場合には出荷時の明るさに戻ります。

30分オフスイッチ

30分後に器具が消灯します。

60分オフスイッチ

60分後に器具が消灯します。

タイマー解除スイッチ

タイマーを解除します。(タイマー作動時のみ)

消灯スイッチ

全てのランプが消灯します。
※タイマー起動時はタイマーも解除されます。

チャンネルスイッチ

2台の器具を個々に操作する場合に器具側のスイッチと合わせます。
※「3チャンネルの設定について」をご確認ください。

2 リモコン受信部のスイッチについて

チャンネル設定スイッチ

出荷時は1に設定されています。器具施工時に変更されている場合がありますので、「3チャンネルの設定について」をご確認ください。

リモコン受信部

リモコン送信機からの信号を受けます。(傷つけたり、汚したりしないでください。)

3 チャンネルの設定について

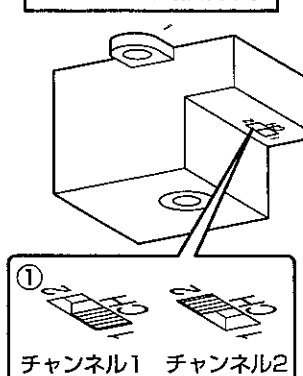
＜1台の器具のみ操作する場合＞

リモコン送信機のチャンネルをⅠにしてください。

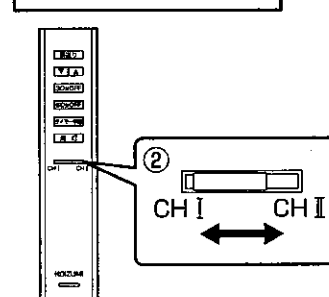
＜2台の器具を操作する場合＞

一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルをⅠにし、他方をⅡにしてください。
リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

リモコン受信部側



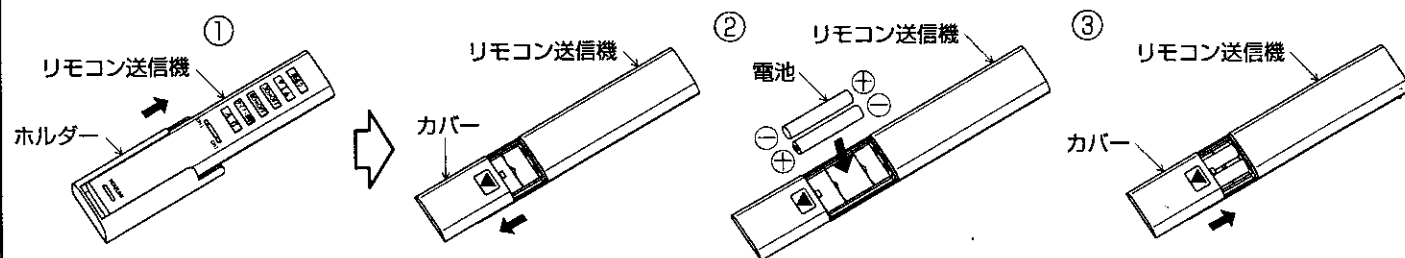
リモコン送信機側



■リモコン送信機について

1 リモコン送信機をホルダーから取出す

- ① リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
- ② 電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③ カバーを取付ける。



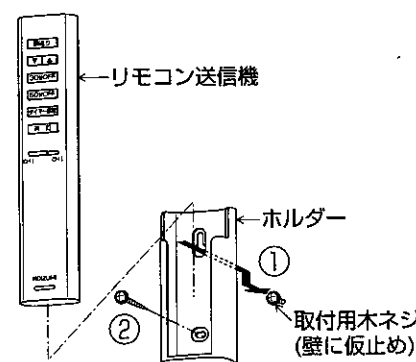
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

- ① 必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ② 2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

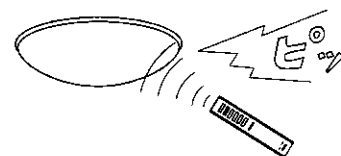
※その際、強く締め込まないようにする。
ホルダーが破損するおそれがあります。

※操作する場合はホルダーから取り出し、器具に向けて行ってください。



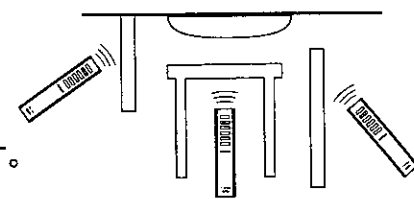
3 リモコン送信機を操作

すると確認音が本体よりします。

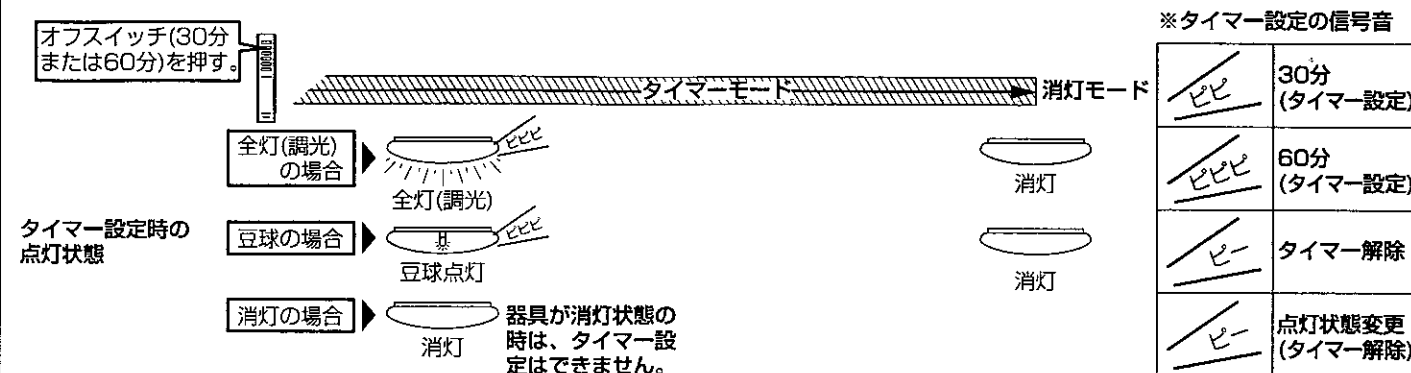


4 使用上のご注意

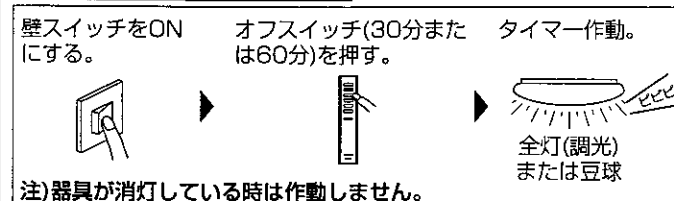
- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。
※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- スイッチを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。
壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。
過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。
器具内の温度が上昇すると正常に戻ります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃべり物がある場合、作動しない場所があります。
しゃべり物をさけて再度スイッチを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



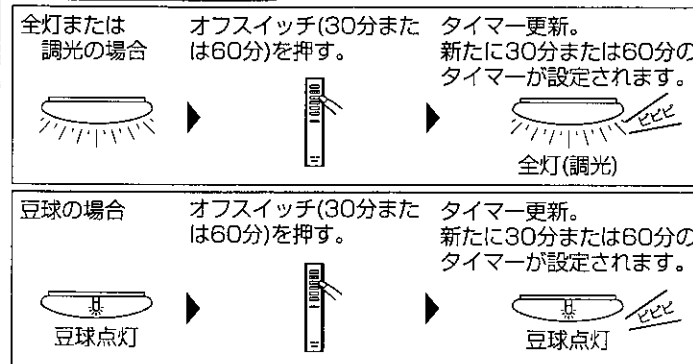
■タイマーの設定について



タイマーを作動させるには



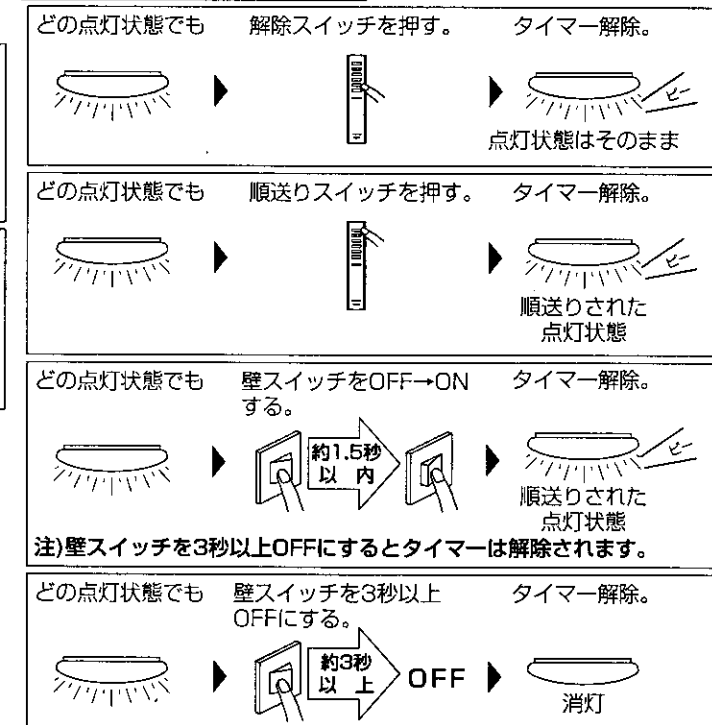
タイマー時間の更新



タイマー作動中に調光状態を変えるには



タイマーを解除させるには



■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。
器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。
ひどい場合は購入店にお申し出ください。
- 多灯用器具はランプを1灯でも外すと消灯状態になります。
- 高防虫機能は、虫の種類(すう光性の有無)、周囲の環境(付近に明るい光源がないなど)によって異なります。